

- 問1 沖縄県の農業経営において、菊の栽培が冬から春にかけて盛んに行われている要因と、その仕組みの組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2024年 広島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。 | 2. 労働力不足を補うために、冬場だけ働く季節労働者を全国から集め、生産費を一定に保つ工夫をしている。 | 3. 菊の需要が最も高まる9月の出荷をあえて控え、競合が少ない3月の卒業・入学シーズンに絞ることで輸送費の無駄を省いている。 | 4. 夏場の涼やかな気候を活かして他の産地の品不足を補い、高い輸送費を払っても利益が出るような高い販売価格を設定している。 |
|---|---|--|---|
- 問2 長崎県の海面養殖業に関する2008年から2013年までの統計データにおいて、生産額は200億円台、生産量は2万トン前後で推移しています。この期間における長崎県の養殖業の特徴を説明した文として、適切なものはどれですか。
(2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。 | 2. 養殖技術の向上によって生産量が急増したため、供給過剰となり生産額は年々大幅に減少している。 | 3. 1トンあたりの単価が非常に安価な魚種ばかりを生産しているため、生産量が多いが生産額は10億円を下回っている。 | 4. ふぐの生産だけに特化した産業構造となっており、他の魚種の生産はほとんど行われていない。 |
|---|--|---|--|
- 問3 長崎県は複雑な海岸線を持つことから、入り江などを網で仕切って魚を育てる「海面養殖」が盛んです。2008年から2013年にかけて、長崎県ではぶり、まぐろ、ふぐなどの様々な魚が育てられています。これらと並んで生産額の多くを占めている代表的な魚種を選択肢から選んでください。
(2017年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|----------|--------|
| 1. さけ | 2. かつお | 3. ほたてがい | 4. まだい |
|-------|--------|----------|--------|
- 問4 世界最大級のカルデラを持つ阿蘇山が位置する県について、統計資料において第1次産業の就業者割合が約10パーセントと比較的高く、人口密度が1平方キロメートルあたり約240人である場合、この県の名前として正しいものはどれですか。
(2019年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿児島県 | 2. 長崎県 | 3. 宮崎県 | 4. 熊本県 |
|---------|--------|--------|--------|
- 問5 熊本県の農業統計において、農業産出額が1,247億円に達する「野菜」と、1,147億円に達する「畜産」が大きな割合を占めている特色について述べたものとして、最も適切なものはどれですか。
(2020年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|---|
| 1. 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。 | 2. 広大な平野を利用した稲作に特化しており、農業産出額の大部分を米が占めている。 | 3. 近郊農業の特性を活かして野菜の生産のみに集中しており、畜産や米の生産はほとんど行われていない。 | 4. 果実と花きの生産に特化した構造となっており、野菜や畜産の産出額は全国平均を下回っている。 |
|---|---|--|---|
- 問6 九州地方の農業について、茶の生産状況を説明した文として正しいものはどれですか。
(2017年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
| 1. 宮崎県は、九州地方の中で最も茶の生産割合が高い県である。 | 2. 福岡県は、三重県や京都府を抑えて国内で最も茶の生産量が多い。 | 3. 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。 | 4. 九州地方では茶の生産は行われておらず、近畿地方が全国の生産の大部分を占めている。 |
|---------------------------------|-----------------------------------|---------------------------------------|---|
- 問7 鹿児島県において、県庁所在地の周辺に広がり、大規模な住宅団地などが造成されている、火山噴出物が堆積して形成された台地を何と呼びますか。
(2020年 東京都公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|----------|----------|-----------|
| 1. シラス台地 | 2. 牧之原台地 | 3. 武蔵野台地 | 4. カルスト台地 |
|----------|----------|----------|-----------|
- 問8 九州地方の農業において、鹿児島県や宮崎県を含む南九州で特に生産が盛んであり、統計上も九州地方全体の農業産出額の約4分の1を占める主要な部門はどれですか。
(2018年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|------|
| 1. 果実 | 2. 畜産 | 3. 工芸作物 | 4. 米 |
|-------|-------|---------|------|
- 問9 鹿児島県は、全国有数の農業産出額を誇る一方で、その内訳を見ると米の生産割合が非常に低く、畑作や畜産が中心となっています。このような農業の特色が形成された背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2022年 栃木県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 山間部が多く耕地面積が限られているため、米の生産をあきらめて付加価値の高い果樹栽培に特化したから。 | 2. 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。 | 3. 冬の気温が氷点下になる時期が長く、稲の成長が妨げられる冷害の影響を避けるために畜産へと転換したから。 | 4. 大規模な干拓事業によって得られた平坦な土地が塩分を含んでいたため、米の栽培を避けて野菜栽培を優先したから。 |
|--|--|---|--|
- 問10 鹿児島県などの火山地帯に多く見られる、火山の噴火によって形成された大規模なくぼ地である「カルデラ」の説明として、最も適切なものはどれですか。
(2020年 群馬県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 火山の周囲を流れる河川の浸食作用によって、山頂付近が大きく削り取られてできた地形である。 | 2. 噴火の際に出た火山灰が周囲の低地に厚く堆積し、周囲よりも低く見えるようになった地形である。 | 3. 地震による断層運動によって地盤が沈み込み、そこに雨水が溜まってできた地形である。 | 4. 大規模な噴火の際、地下のマグマが排出されたことでできた空洞が崩落してできた地形である。 |
|---|--|---|--|
- 問11 九州地方の農業統計において、肉用牛の飼育数が約32万頭と突出して多く、温暖な気候を活かした畜産業と、ビニールハウスなどを活用した野菜栽培を組み合わせた農業が行われている県はどこか。
(2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|---------|
| 1. 大分県 | 2. 福岡県 | 3. 宮崎県 | 4. 鹿児島県 |
|--------|--------|--------|---------|
- 問12 福岡県を訪れる外国人観光客の統計を確認すると、韓国からの宿泊者数が中国からの宿泊者数の3倍以上に達しています。このような特色が見られる主な背景として、最も適切な説明はどれですか。
(2019年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
| 1. 九州新幹線の開通により、東南アジアから陸路での入国が容易になったため | 2. 九州地方では中国との貿易が禁止されており、観光客の受け入れを制限しているため | 3. 福岡県内にアジア最大の国際ハブ空港があり、欧米からの直行便が集中しているため | 4. 博多港と韓国の間国際定期航路があり、地理的にも非常に近接しているため |
|---------------------------------------|---|---|---------------------------------------|
- 問13 九州地方南部や四国地方の太平洋側では、冬でも雪が少なく温暖な気候を利用して、ピーマンやきゅうりなどの促成栽培が盛んに行われています。このような温暖な気候をもたらす主な要因について、海流の性質に注目した説明として最も適切なものを選びなさい。
(2023年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 大陸沿いに南下するリマン海流によって、冬の乾いた季節風が温暖められるため。 | 2. 高緯度から冷たい水を運ぶ「寒流」である親潮が、太平洋の沿岸部を冷やしているため。 | 3. 日本海側を北上する対馬海流が、対馬海峡を通じて太平洋側に大量の熱を供給しているため。 | 4. 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。 |
|--|---|---|---|

答え合わせ・解説

問1	答え 1 温暖な気候を活かして暖房代などの生産費を削減し、消費地から遠いことによる輸送費の負担を克服している。	沖縄県の菊栽培は、自然環境の利点を経済的な不利な条件（距離の遠さ）の解決に結びつけた合理的な農業経営の代表例です。冬に暖房機を使わず栽培できることは、生産コストの面で非常に大きなメリットとなります。2022年のデータでも、冷え込みが厳しい3月に出荷のシェアが高まっている一方で、暖房が不要な9月にはシェアが極端に低くなっていることから、この経済的な仕組みが裏付けられます。
問2	答え 1 ぶりやまだい、まぐろ、ふぐなど多種多様な魚種を安定して生産しており、全体として一定の生産規模を維持している。	長崎県の海面養殖は、対馬海流の影響を受ける良好な漁場環境を背景に、単一の魚種に依存せず、ぶり、まだい、まぐろ、ふぐといった複数の主要魚種をバランスよく生産しているのが特徴です。統計上も生産額・生産量ともに極端な増減は見られず、安定した水産業を展開していることが読み取れます。
問3	答え 4 まだい	長崎県は、リアス海岸などの入り組んだ地形や多くの島々という地理的条件を活かし、海面養殖が非常に盛んな地域です。特に「まだい」の養殖生産量は全国でもトップクラスであり、ぶり、まぐろ、ふぐ（トラフグ）といった市場価値の高い高級魚を組み合わせることで、高い生産額を維持しています。
問4	答え 4 熊本県	阿蘇山は熊本県に位置しています。熊本県は豊かな湧水や阿蘇の広大な景観を活かした農業が盛んであり、第1次産業の就業者割合が全国平均よりも高い傾向にあります。鹿児島県にはシラス台地、長崎県にはリアス海岸といった特徴的な地形がありますが、阿蘇山のカルデラがあるのは熊本県です。
問5	答え 1 米、野菜、畜産、果実などがバランスよく生産されており、特に野菜と畜産の産出額が非常に高い水準にある。	熊本県の農業は、特定の品目に依存せず、米、野菜、畜産、果実、花きなどが幅広く生産されているのが大きな特徴です。2016年の統計データによれば、野菜の産出額が約1,247億円、畜産が約1,147億円となっており、これら2つの分野が県全体の農業経済を支える大きな柱となっています。
問6	答え 3 鹿児島県は、静岡県に次いで国内で2番目に高い茶の生産量を誇っている。	日本の茶の生産は静岡県と鹿児島県の2県が突出しており、鹿児島県は全国第2位のシェアを誇ります。九州地方には宮崎県や福岡県といった産地もありますが、生産量において最も多いのは鹿児島県です。近畿地方の京都府なども茶の産地として有名（宇治茶など）ですが、生産量ベースでは鹿児島県や静岡県が上位を占めるのが現状です。
問7	答え 1 シラス台地	南九州に広く分布する、火砕流堆積物が重なってできた台地をシラス台地と呼びます。水持ちが悪いため稲作には不向きですが、鹿児島市周辺では宅地造成が進み、多くの市民が暮らす住宅地となっています。なお、カルスト台地は山口県の秋吉台などが有名で、牧之原台地は静岡県のお茶の産地として知られています。
問8	答え 2 畜産	鹿児島県や宮崎県を中心とした南九州は、シラス台地と呼ばれる火山噴出物による台地が広がっており、水持ちが悪く稲作に不向きな土地が多く存在しました。そのため、古くから畑作とともに肉用牛、豚、鶏などの飼育を行う農業が発展し、現在では日本有数の生産地となっています。
問9	答え 2 水はけが良すぎる火山灰土からなるシラス台地が広く分布しており、稲作よりもサツマイモなどの畑作に適していたから。	鹿児島県には、過去の火山活動による噴出物が堆積してできた「シラス台地」が広がっています。この地質は非常に水はけが良く、稲作に必要な水を保持しにくいという性質があるため、伝統的に水田よりも畑作が盛んになりました。現在では、この広大な土地を利用して、サツマイモや茶などの畑作、そして肉用牛や豚、鶏などの畜産が大規模に行われており、日本の食料供給基地としての役割を担っています。
問10	答え 4 大規模な噴火の際、地下のマグマが排出されたことでできた空洞が崩落してできた地形である。	カルデラは、もともとあった火山の中心部が崩落することで形成されます。スペイン語で「大鍋」を意味する言葉が語源となっており、その内部にカルデラ湖が形成されたり、阿蘇山のように平坦な土地が広がって集落や農地が作られたりすることもあります。河川の浸食による盆地や、単なる火口とは形成過程が異なります。
問11	答え 3 宮崎県	宮崎県は、隣接する鹿児島県とともに日本有数の畜産地帯を形成しています。特に肉用牛の飼育が盛んであり、広大な土地と暖かい気候という条件が、大規模な畜産業の発展を支える背景となっています。
問12	答え 4 博多港と韓国間に国際定期航路があり、地理的にも非常に近接しているため	福岡県は地理的に韓国と近く、博多港と釜山を結ぶ高速船（ジェットfoil）などの国際定期航路が日常的に運行されています。このため、他県で多く見られる「中国からの観光客が最多」という傾向とは異なり、船舶を利用して比較的短時間・低コストで移動できる韓国からの観光客が高い割合を占めるという独自の構造を持っています。
問13	答え 4 低緯度から熱を運んでくる「暖流」である黒潮が、日本の南岸から東岸に沿って流れているため。	黒潮（日本海流）は低緯度の暖かい海域から流れてくる「暖流」であり、周辺の気温を上昇させる働きがあります。この海流が九州南部から四国、関東にかけての太平洋沿岸を流れているため、これらの地域は冬でも温暖な気候が保たれています。この気候的特色は、ビニールハウスなどを利用して野菜の出荷時期を早める促成栽培にも活用されています。